

NTT労組・退職者の会 大阪支部協会展

2001-5号(通算21号)2002年8月15日

提何泉〇〇

NTT労組退職者の会・大阪支部協会展
発行責任者 鷲谷 豊
編集責任者 小林 保
〒553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73 コミュニティプラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6344-9382

美しく健康、生涯いきいき

紙 面 か ら

淡輪「愛の家」特集……………2面
公開いきいき講座募集……………3面
秋のハイキング案内……………3面
囲碁大会案内……………3面
会員の広場……………3面
会報手配り奮闘記……………3面
ゴルフコンペ案内……………3面
ともしびの会支援のお願い……………4面
会員の文芸……………4面
人の動き……………4面

役員体制について

支部協役員数については会長・事務局長は現行通りですが、基本組織（大阪総支部）からの選出については、両組織間で、別途協議することとしています。

副会長・幹事（各若干名）については次年度は、副会長

には女性代表一名、財政担当一名、ブロック代表四名、幹事は女性二名、ブロック各一名体制とします。

なお、今年度は役員改選年度（二年任期）となりますので、総会で新役員について承認を求めます。

ブロック総会は 全会員へ参加呼びかけ

支部協総会後各ブロックが立ち上げのブロック総会（代議員制とせず全会員へ参加をハガキで呼びかけ）を一一月中に開催することとします。（近畿圏外の居住会員

地域ブロックへの 移行に向けて

支部協のブロック組織は次年度より職域型から地域型へ移行されますが、河内、泉州、北摂、なにわの四ブロック準備委員及び役割を決め、移行への準備を進めています。

活動方針について

活動方針については、ブロック体制の再編に伴い、支部協の活動としての総会・会報の発行・いきいき講座・一泊レク・愛の家、あいハート須磨などを対象とした地域をまたがるボランティア・支部協全体を対象にした方が活動しやすいサークル育成・退職者共済・常駐による会員とのコミュニケーション・上部機関などとの活動・ブロック間の活動の調整など

は支部協直属ブロックのため対象外です。また、ブロック総会へ向けてブロック役員体制の決定、年間の活動計画、交付金の予算計画など準備中です。

財政について

支部協の財政については、中央協からの交付金の減額、NTT労組総支部からの援助金の廃止等厳しい状況にありますが、次年度の支部協会費は現行通りの二〇〇〇円とします。

しかし、中央協から求められている今目的なレベルに合わせいくため二〇〇三年度から四〇〇円

ロックの活動の明確化などについて組織検討委員会で検討し、準備委員会で説明しています。なお、具体的内容は総会で提起し承認を得ることとなります。

NTT労組大阪総支部結成大会



去る七月一九日、NTT労働組合大阪総支部の第一回（結成）定期大会を開催しました。

総支部は、NTT大阪支店、マーケティングアクト関西、ネオメイト関西、ビジネスアソシエ関西に対応する総支部として、大阪・和歌山を網羅し、二十二分会二一、〇〇〇名組合員で新たなスタートを切りました。

大会冒頭、赤本執行委員長は「いかにして西日本会社を黒字にするのか。反転攻勢に打って出る方針を固める」と力強い挨拶を述べ、有村事務局長からの活動方針を始めとする各種提案について満場一致で決定しました。

大会宣言も「スタートダッシュ宣言」とし、

- ①「語ろう今」
- ②「結ぼう心」
- ③「拓こう未来」を確認した。

5周年記念行事

記念講演 内藤参議院議員

今年は大阪支部協が設立して五周年となります。この節目の記念行事について、一〇月二六日の定期総会で組織内の内藤参議院議員に記念講演を依頼しましたところ快く承諾を得ました。なお総会は代議員制ですが傍聴は自由ですので、講演を聞

きたい方は支部協議会へ連絡下さい。しかし、国会の日程により変更することもあります。

………
また、総会のオープニング行事として「わたすげの会」による大正琴の演奏が行われます。

大正琴演奏

ともに大幅に増額したいと考えています。しかし、金額については、会報の発行、いきいき講座の開催、常駐体制などを考慮した支部協経費について現在試算中であり、総会で具体的予算案を提起致します。

大阪総支部役員体制は左記の通り

執行委員長	赤 本 忠 司
副執行委員長	山 田 健 一
副執行委員長 (和歌山担当)	中 西 徳 夫
事務局局長	有 村 勇 男
企画部 部長	内 海 洋 一
総務部 部長	西 原 伸 也
組織部 部長	大 塚 光 治
組織部	浅 利 哲 司
組織部	南 出 正 昭
組織部	大 方 幹 子
組織部	杉 靖 之
和歌山担当 分会長兼務	小 林 茂
事業対策部長	塩 谷 豊
事業対策	竹 内 豊 介
事業対策 分会長兼務	今 城 千 加 子
事業対策 分会長兼務	高 瀬 泰 幸
事業対策 分会長兼務	横 井 直
事業対策 分会長兼務	大 平 則 雄
監 査 員	池 尻 泰 顕
	川 辺 博 文
	桜 井 和 好
	多 啓 一
	宮 下 伸

二〇〇一年一〇月より 知的障害者総合福祉施設

「愛の家」は開園以降N.T.T.労組の仲間のみならず他の労組の仲間を始め、多くの有志による、カンパ、ボランティアなどの支援を受け発展を遂げ、開園三〇年目の二〇〇一年一〇月建物も新しく、知的障害者総合福祉施設として開設し、二〇〇二年一月には通所部もオープンいたしました。

場所 大阪府泉南郡岬町淡輪1600
電話 0724-94-0123

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

知的障害者総合福祉施設 愛の家
知的障害児施設 きぼう
知的障害者更正施設(入所) かがやき
知的障害者更正施設(通所部) 工房たんのわ
地域交流センター ひだまり

「精神薄弱や身体障害の人たち、同じ人間として、この世に生を受けた者なのに、なぜ、疎外され、さげすまれ、嫌がられ、白眼視されるのでしょうか。精神薄弱者や身体障害の生まれてこない保障はありません。心身障害者は社会復帰が困難であるために、その子弟をもつ家庭は社会から孤立し、惨めな境遇に追い込まれ、数々の悲劇が生じています」という言葉で始まる提案は、洲本市で開かれた第一七回地方大会で満場一致の決定を見た「心身障害者に対する収容・援護施設の設立」という議案であった。

荒山さん、小山さんという親族に心身障害者をもつ二人の組合員の活動が、当時の片山近畿地本委

員長にも届き、いっきに提案へとすすんでいった。
運動のスタートは「愛のカンパ」で始まった。一九六八年二月、ポスターパンフレットと共に「愛のカンパ」袋が職場に配られた。しかし、法的制限等克服しなければならぬ問題も多く、当初の重症施設から精神薄弱児施設の設立と変更し、当時の電電公社より借地、借地料は共済会が負担土地の提供などの協力を得、資金は「愛のカンパ」の利子を含めて二七・一七万円余、大阪府補助金一五・二三万円余で一九七一年四月一日「淡輪・愛の家」が開園した。
「第一次入園児は四月一日ときまった。園長のこまやかな指示に、全員の顔は明るい。園児の幸せに

淡輪学園「愛の家」の生い立ち

『全電通近畿四七年の歩み』より抜粋

大阪支部協議会は発足以来「愛のカンパ」募金活動を続け、毎年一〇〇万円を超えるカンパを全電通近畿社会福祉事業団に寄贈しています。また、「愛の家」や「あいハート須磨」へのボランティア活動なども行ってきたいます。

この社会福祉事業団が生まれたのは三二年前、「愛の家」へのボランティア活動を報じるにあたり、設立の生い立ちを振りかえってみようと、「全電通近畿四七年の歩み」から抜粋してみました。

全力投球しなけりやー。生気がみなぎる。岬から吹き寄せる風が、肌をそつとなでて通る。来たよ！来たよ！保母の甲高い声がひびく、園長始め全員玄関に集まる、両親に伴われた男の子が入ってきた。ズングリとして色白い膚に、細い眼、頭髮短く、角刈りがとても可愛い。全員で「こんにちは」と挨拶を交わす。すかさず若い保母が「ヨシオちゃんこつちにおいで」と近寄る。ヨシオちゃんは泣き出しそうな顔で、母親の手をグイグイ引く張る。屋外に出ようと懸命だ。そして、悲しそうに泣き出した。細い瞳から大きな涙が頬を伝う。胸に熱いものを感じる「開園して初めての園児たちを迎える気持ちと雰囲気があるのままだに語られていた。『よみがえれ心とからだ』(片山甚市編、学陽書房)に寄せられた小土井信夫初代事務局長の記である。

愛のカンパを寄贈

ご協力ありがとうございます

1,083,000円

本年度の愛のカンパは皆様方のご協力で上記金額を全電通近畿社会福祉事業団に寄贈致しました。



参加者からの一言

よろこんでももらえらるといいす、
と言う気持ちで菜に花を置き、
一つ一つ心をこめて作りました。
細枝 純子

私の人生で作った一枚の
しおりでした。
満塩 静夫

初めてのボランティアで少し意
気込んでききましたが、メンバ
ーの中にすぐ入れられました。自分
の心にも充実でき本当に楽しい一
時でした。次回から是非参加
させてください。
淡田 照子

退職後九年になりましたが自由時
間が余りないので、行事参加が
少ないのが反省点です。
河霜 昭子

皆様方の暖かい気持ちに大変嬉し
く思います。これから苦勞お
かけしますが今後も頑張りたく
ださいます。
香川 重光

初めての事を見、聞き、体験し、
おしえられ、感謝され、これら
ボランティアと言ったことも思
ななくて、おこがましい事だと思
います。
廣道久美子

同じ環境・空間で共に過ごす 手漉しおり作成ボランティアに参加して

裏 廣道



しおり作りに取り組む会員

知的障害者総合福祉施設「愛の家」に、六月二六・二七日の両日、南部ブロック主体で、一五名がボランティア活動に参加しました。内容は、利用者が牛乳パックを漉いて作ったしおりに、押し花をあし

らい「押し花葉」として商品化することでした。いろんな葉や花をピンセットでつまみ上げ、図案化することは、その人の感性が問われ、もう大変でした。昼食は、同じテーブルで、同じものを利用者の間にはいて一緒にいただきました。食卓一杯にほす人、服を濡らすもの、賑やかな人、飯粒だらけの人など、同じ環境、同じ空間でわずかな時間でしたが共に過ごすという体感を持てたことは、多くのボランティアの講演を聞くより、有意義なことでした。

各参加者個々の心の中では、「生きる」ということの貴重な何かを感じとれたことだと思います。

七月三日、NWブロック、下辻喜美子・中田かよ子・東部ブロック、太口昭一・大串チエ・大橋康子の五名、七月五日、北部ブロックの森川伊津美・上田収・平坂隆吉の三名も参加しました。

退職後一五年になりましたがはじめて来て、明るい愛の家を見て大変良かったとおもいます。
行広 昭子

はじめておし花作品づくりに参加し大変でした。絵心もないため商品にはならぬと思いますが心をこめて作りました。自分には良い人生勉強になりました。
谷口 次作

淡輪愛の家始めて訪問
押花作品のしおり作りに苦闘
自分の出来る作業をする
藤原 秀

みんな みんな 明日に向かって
一生懸命なんだ！
吉田 清

押花の配置、のり付け等細かい作業で大変気をつかいました。又職員さんの気苦労も実感しました。
浜本 調行

なれない事でなかなかうまくできませんでした。自分のセンスのなさにつづくくいやになりました。
源 勝子

昼食を一緒にしましたが、職員は強い意志が要求されると痛感しました。
古布 充



新しくなった愛の家の全景

公開いきいき講座

10月のいきいき講座は公開講座ですの
受講生以外の会員も自由に参加できます。

日 時 10月16日(水) 13時～16時30分
場 所 コンボ3階ホール
テーマ及び講師 下記の通り
一般参加者は会費500円を当日受付でお支払い下さい。



歌謡ショー
ひばりのそっくりさん 久間 勝代
クラウンレコード 林 健二

第41回 ノース・リバー ゴルフコンペ

9月25日(水)

スタート9時33分 OUT・IN同時スタート

受付人員 10組 先着40名
場 所 能勢カントリー倶楽部
乗用カート使用 川西市東畦野字長尾1-3 ☎ 0727-94-1101
プレー費 ゴルフシューズすべて可
キャディ 12,200円
seruhu 9,500円
申し込み締め切り 8月21日(水) 午後4時までに
大阪支部協へ電話で
☎ 06-6451-8100
参加費 3,000円



秋の市内ハイキング 「てくてくロード」約7キロ 堺市内史跡巡りはいかが！ 日時 10月2日(水)

集合場所 南海高野線 堺東駅前
集合時間 午前10時
コース 土居川公園→花時計→南宗寺(千利休)→祥雲寺(隠れキリシタ
ン)→妙国寺→西本願寺堺別院→堺刃物会館→ザビエル公園→
蘇鉄山(大浜公園・昼食)→旧堺灯台→南海本線堺駅で解散
申し込み 9月20日(金) 16時まで
支部協議会 ☎ 06-6451-8100
持参する物 弁当・水筒・雨具
雨天中止 当日午前7時の気象予報 40%以上の場合中止
当日のみの問い合わせ ☎ 090-3712-0343 古布
☎ 090-3941-6251 田中

第八回 囲碁大会

サークル会員以外も歓迎、多数のご参加をお待ちしています。

9月13日(金) 10時より

場 所 コンボ大阪談話室(5F)
申 込 9月6日(金)まで
段級位、氏名を記し「ハガキ」で 大阪支部協議会へ
〒553-0003 大阪市福島区福島三丁目1-73
コミュニティプラザ大阪 NTT労組退職者の会 大阪支部協議会



ウォークラリー 参加者は211名

5月に行なった恒例のウォークラリーは211名の参加がありました。

最高距離は579キロ 最高年齢は85歳です

なお、参加記念品は7月末に参加会員へ郵送致しました



新聞リーディングサービス 「ともしびの会」ご支援のお願い



平成二年、NTTの社会貢献活動の一環として、
NTT女性退職者が依頼を受けて発足したボラン
ティアグループ「新聞リーディングサービス・と
もしびの会」は、目の不自由な方々を対象に、電話に
より新聞や、FAXによる手紙、各種説明書などの
代読、また、むずかしい単語等のお問い合わせには、
辞書を引いてその内容をお読みするなどのサービス
を実施しています。
発足後一二年目を迎え、各方面から感謝状を頂く
など福祉団体として社会的にも認められる存在とな
りました。
しかし、NTTの厳しい現状と、大幅な組織変更
に伴い、平成一四年度より自主的な組織、一市民団
体「ともしびの会」として、新しく出発することと
なりました。
これら運営についても厳しい状況になってまい
りましたので、賛助会員を募集したく、皆さまの温か
いご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

賛助会員	年会費	法人 1口 10,000円(何口でも可)
	個人 1口 1,000円(何口でも可)	
払込方法	郵便振替の場合	
	郵便局の振替用紙に 口座番号00950-6-161821	
	(NTTともしびの会)宛にご送金下さい。	
事務局	〒550-0001	
	大阪府西区土佐堀1丁目3-34 NTT大阪支店土佐堀別館3階	
	☎ (06)6445-8370	
	ともしびの会 会長 中本一枝	

会報手配り奮戦記 南部ブロック 一部地域で実施

南部ブロック委員会では「全会員との唯一
の連絡手段」になっている会報「堰河泉OB」
を会員との心を通わせる方法に活用できない
かを検討しました。
「人と人が直接触れ合い、心を通わせるこ
とが生きていくことの原点だ」とお互いが確認し
あい、出来る範囲と方法で会員宅に手配りを
実施しようと決まり、その準備に入りました。
まずは四月一五日発行の会報から実施する
こととして、岸和田市の郵便番号二桁の地域
を四人のブロック委員、泉佐野市内を二人の
ブロック委員が分担して計約一〇〇軒の会員
宅へ手配りを実施することになりました。
初めての経験なので住宅地図を頼りに、同
一地番内に住宅が建て込んでいる所、路地の
入り組んだ家等判りにくい場所もあり予想外
に時間がかかりましたが、二回目の六月一五
日号は半分以上の時間で手配りは終了しまし
た。

この手配りでの経験は、多くの知人会員と
も久しぶりに会えたこと、初めての会員も手
渡しを喜んでくれたこと、行事への参加も呼
びかけることができたこと、一部マンション
入居者は、在宅ながらコールしても「郵便受
けに投入しておいて」とか、また少数の会員
は入院や在宅療養をしておられたことでした。
留守宅が約三分の一程度ありましたが、初
めてお会いする方でも退職者という共通点を
持っているだけで笑顔の挨拶が出来、お互い
に毎日を頑張っているという生活感と連帯感
を強く感じました。また毎日が家族の看病で
ほとんど家を出られず対話の少ない会員に
とって会話が出来る「手配り行動」はきつと
喜ばれたと思います。
サークルや例会への参加者は、やや固定化
されつつある現状の中で、ほとんど接触のな
い会員との触れ合いはとても貴重な運動だ
と思いました。今後も会報の手配りは継続した
いものです。

